

令和 4 年 2 月 1 8 日	通告順序
午前・後 9 時 38 分 受領	9

令和 4 年 2 月 1 8 日

会津美里町議会議長 横山 知世志 様

会津美里町議会議員 10 番 星 次



一 般 質 問 通 告 書

令和 4 年定例会 3 月会議において、次のことについて質問したいので、会議規則第 6 1 条第 2 項の規定により通告します。

- (注) 1. 質問の要旨は、具体的に記載すること。
2. 質問の相手は、町長、行政委員会の長又は監査委員とする。

質問事項	質 問 の 要 旨	質問の相手
1. 令和 4 年度町長の施政方針について	施政方針が出されましたが、令和 3 年度と比較してどこをどのように変わったのか見受けられないが町民の方々へも分かりやすく答えて下さい。町長は福島県議会議員として長年政治活動をされてきました。その活動の中で幅広い人脈と豊富な経験を培ってきました。その利点を活かしたまちづくりを町民は杉山町長に期待しているところですが、町の喫緊の課題として、人口減少と空き家対策及び耕作放棄地の解消、移住定住による交流人口の促進と働く場の確保等、早急に対策を講じる必要があると考えますが、見解を伺います。	町 長 教育長

	施政方針の中の観光の振興についてであります。体験型ツアーの開発や波及型イベントの実施、観光大使の任命等のアクションプランについて具体的な考えがあると思われますので、見解を伺う。また、向羽黒山城跡の専用サイトの構築を実施するようですが、これだけではなく、教育委員会と連携しての事業展開が必要であると考えます。既存の資料館の解体に伴う施設の建設や山城跡の説明や案内看板の設置等早急に実施しなければ、他の市町村に遅れを取るのではないかと危惧されます。観光協会任せの事業展開ではなく、町行政が先頭に立って整備計画の実行を期待しております。見解を伺う。	
2. JR 只見線の利活用計画について	本年秋には念願の只見線が再開通となります。 その開通に合わせて、県内外から多くの観光客が利用されると思われます。奥会津5町村では今から色々と計画を立案し実行しておりますが、本町では開通に向けての誘客や町のPRと情報発信はどのようにしていくのか、また、JRと協議して高田駅構内にアンテナショップ的なことを開設し、町の情報発信と産品販売を実施して、町中散策を促しては如何かと考えるが見解を伺う。	町 長
3. 農業体験学習農場の利活用について	農業体験学習農場は福島県の果樹試験場会津試験地として、長年本町も含め近隣市町村の果樹栽培の振興に寄与してきました。この敷地を旧会津高田町が平成元年頃に福島県から払い下げを受けて、農業体験学習農場として建物と農場を管理運営をしてきました。 しかしながら、開設以来約30年の歳月が経	町 長

	過して、建物の修繕等も年々増えてきているのではないかと考えます。いずれ検討する時期が到来すると思われますが、町の考えがあるのであれば、考えを示して下さい。 この施設を最大限に活かしての農業体験交流施設としてや、クラインガルテン（滞在型市民農園）としての利活用等考えられますが、見解を伺う。	
--	--	--